本紙は女性による平和と平等を推進します

回覧 □□□□□□□

発行所
㈱全国婦人新聞社
〒160 本社　東京都新宿区西新宿3−7−28　宝幸西新宿ビル
電話 03 (343) 1846代表
振替口座　東京 172320
〒543 支社　大阪市天王寺区勝山2−14−6−8
電話 06 (771) 7415代表

全国婦人新聞

ご購読料
1年　3,800円
(郵送料とも)
現金・切手・振替で前納
(月3回発行)
10日・20日・30日

日本大洋海底電線

女性は自らの権利を生かしているか

第35回婦人週間スタート

その日統一地方選

四月十日は三十七年前、はじめて日本の婦人が一票を投じた日。これを記念して、毎年四月十日から一週間、婦人週間が開かれる。そしてことしは、また、統一地方選の日でもある。戦前の婦人運動の、実に大きなエネルギーが、婦人の参政権獲得運動にあてられた。婦人が政治に参加できるということ。これは婦人の地位をしめす大きなバロメーターであり、〝婦選は鍵〟であったのだ。いま、婦人は参政権もある。学校の門戸は完全に平等に開放されている。現実には問題があるにせよ、法律には、男女同一労働、同一賃金がうたわれている。世上、マスコミは、いささか揶揄（やゆ）的だが、「戦後強くなったのは女と靴下」ともてはやす……。だが、女は本当に強くなったのだろうか。自分の権利を完全に生かしているだろうか。

町村レベルはゼロが

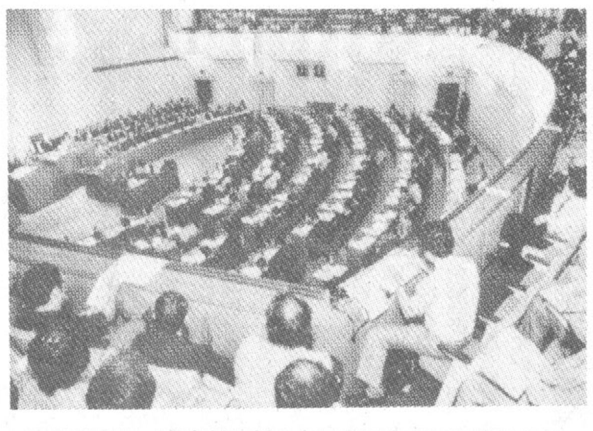
お寒い〝婦人議員〟の数

昨年の四月十日号で、本紙は女性の地位向上の度合を調べるのに、管理職にどのくらい婦人が進出しているかを調べ、結果としてあまりに寥々たる現実に驚いた。

ことしは地方選にちなみ、政治への進出度を調べてみた。

ちなみに、女性解放が一番進んでいる国はデンマークだという。閣僚二十人のうち、四人が女性で、国会議員の四分の一が婦人だという。

日本ではもちろん、いま閣僚に女性は零。では議員は——。


東京都議会。さすがにゼロということはないがそれにしても婦人議員の数はかぞえるほど

各レベルの議会の婦人議員数を調べてみたら、表のような数字になった。なんとお寒い数！

国会議員も参院で多少多いので率は上っているが、たった三%強。少ない少ないと思っていたが、県、市、町村議会と、身近になるにつれ、むしろ婦人議員の数が減ってくるのだ。特にひどいのは町村議会。国会レベルでは、婦人議員の数は少ないとはいえ、零になったことはかってないが、町村レベルでは〝婦人議員零〟が少しも珍しいことではない。中には有史以来婦人零の町村議会も——。

東京特別区はさすがに一番婦人の率が多いが、それでも一割はいないし、婦人零の区議会もある。有権者の半数は婦人であり、それぞれのレベルの議会に婦人の代表がいなければ、日本の政治もホンモノにならないのではないだろうか。

婦人の場合、政治嫌い、政党嫌いの人が多く、たとえば衆院の婦人議員は九人だが社会党二人、共産党七人と二つの政党に偏よっている。共産党等を除き、候補者に出せるほどの婦人党員の数の少なさが、どの政党も悩みとなっている。

〝議長〟や〝市長〟〝知事〟等、長のつく地位となると、もうパーセンテージなどには入らない。国会議長、知事クラスは、女性どころか、女性候補者が出たことも聞いたことがない。レア・ケースとしては大阪府吹田市議会に婦人議長がいる。県会議長はいまも過去も例なし。「副議長には、かつて女性の方がいたこともあったのですが、いまは零」（全国県議会議長会の話）ということだった。

恩典も行政チェック

女ひとり生きる厳しさ

〝婦人議員〟が、婦人の中でエリート的な、突出した部分とすれば、一番底辺の部分はどうだろう。思い浮ぶケースの一つに、売春女性。貧困によるものではなく、〝好きでやっている〟という意地悪い声も聞かれるのだが……。

さきごろ、売春問題ととりくむ会の定例会で〝婦人保護事業の今後が話しあわれたときのこと。転落女性、転落のおそれのある女性、底辺の女性を救う婦人保護事業だが、これに対する国庫補助は婦人相談員、相談所、保護施設を含めてたった二十三億円。（これすらも臨調で補助カットのヤリ玉にあげられ、婦人団体の抗議でようやく、くいとめられた）。その少ない事業、施設も、現実に抱えている問題が多いことが現場から報告された。たとえば、婦人保護施設は全国に五十七あり、収容人員は二〇五六人だが現実に千人以下しか入寮者がいないことをあげて、施設など不必要だという向きがあるが、併設施設が多く（三十）、大きい施設は私立ばかり。公立施設は小さく、収容十人以下の施設が二十八もある。専任職員がいない施設が十九もあり、しかもこれが全部公立という。専任職員もいないで充分のことができるわけもなく、こうしたことが収容率を下げている。

多くの施設が老朽化し、収容者の八〇%以上がなんらかの障害があり、更生復帰がしにくくなっているというのも問題だ。

婦人相談員については、売春の様相が多様化し、相談内容のバラエティもふえ、ケアーが難しくなっているのに、対応し切れない相談員もいる。仕事に情熱をもち、一生の仕事として取り組んでいる人も多い反面、退職した公務員（男性）が二、三年つとめては変わって行くという県もあるという。

現在の多様化した売春、性の混乱——。未婚の女性だけでなく、主婦が危なかしくなっているという。ある婦人相談員の紹介した最近のケース。サラ金のため子づれで家出して東京に来た主婦がいた。借金はたった五万円という。家出したものの職がない。昔、手に職もなく、特にツテもない女性の働き先は家政婦会だった。今は家政婦会も、身もとのしっかりした農家の主婦に占められ、こうしたフラフラ主婦の出る幕はない。新宿で三流のキャバレーのよびこみ屋に声をかけられ、託児所もあるというので勤めたが、なんだかんだと金をとられ、五万円の金さえためられず、もっといいところがあるといって飛び出した先がもっとひどいところ——。ここでうまく保護されたわけだが……。

〝五万円〟という額に、なんでサラ金から…という人も多かろう。だが、一介の主婦が、五万円の金を調達するのは、なかなか難儀なことなのだ。しっかりした会社へ勤めている人が、金を借りようと思うときいくらでも道はある。会社なり、会社内の金融機関、あるいは銀行。が、しっかりした勤め先も保証もない主婦にはその道はとざされている。

夫が蒸発、あるいは離婚した何のツテも技術もない女が金を得ようと思うとき——。まずフルタイムの働き口はない。やむをえず低賃金のパートとなる。パートにしても、実際に給料がもらえるのは一ヵ月くらいあとになるが、それまでのつなぎの金がなかった場合どうするか。Aさんのケース。親類でもいやがられ、あちこちかけまわったが、つなぎの少々の金を借りるところがない。やっとみつけたのが公営質屋。それも限度十万円というが、あらいざらいの貴金属やカメラを持って行ったが、六万円しか借りられなかった……。手軽に貸してくれるサラ金にとびこんだとしても、誰が責められよう。

母子家庭に対する恩典は数多くある。それを利用すれば……という。なるほど、就業資金、就学資金、修学資金等の貸付などがある。が、これも〝母子〟に限られているのが特徴。子を育てる、という事業のために貸し与えられるので〝女一人〟の場合、行政は冷たい。

この〝母子〟にしても就業資金や子供の修学資金の貸付を受けてみようかと思ったBさんの話。——資金を借り自宅を改造して、小さな店にでも改造しようと思ったのだが、あまりの書類のヤマに、めんどうくさくなって断念してしまった。「百万円くらい融資してもらっても、それだけじゃ店はできないし…」

子供の高校の入学資金を借りようと思ったCさんの話。——書類の山に仰天。「月一万円くらい借りるのに……」と思ったが、どうにも苦しいので、大さわぎで書類をつくった。保証人の実印がいるが、あまりのものものしさに一軒では断わられ、書類を整備するのに一日がかりだった。が書類を受けに役所の〝判定〟のページを見たとき……。負債について＝観念は誠実かどうか。人柄について＝勤勉、努力家、手腕家、実直、不正直。近隣者との融和＝特によい、よい、悪い、特に悪い。家族関係＝融和している、いない、失業者がいる、いない、疾病者がいる、いない。以上について概当に〇をつけ、ほかに生活態度を書く欄がある。はじめから人を疑っているようである。担当の部局に聞いてみた。「貸付なので。特に厳しいのです。返してもらえないとおおごとですから……」さらにくい下がるといわれた。「無利子で貸してやるのに、文句いわれる筋合いはない……」

この繁雑な手つづき。せっかくいい制度があっても、利用しにくいのではなにもならないのでは——。見方によっては官庁は、RPを少なくし、方法はあっても恩恵を受けられる人を減らそうとしているとさえ思える。

女性が金を調達しようとするのは——まことに難かしい。

婦人議員数

区分	議員総数	婦人議員数	総数に占める婦人の割合
国会議員	人	人	%
衆議院	511	9	3.2
参議院	252	16	
地方議会議員			
都道府県議会	2,883	30	1.2
市議会	19,992	482	2.5
町村議会	46,386	287	0.5
特別区議会	1,034	73	7.0

諸外国における婦人の国会議員数

区分	上院			下院		
	総数	婦人数	総数に占める婦人の割合	総数	婦人数	総数に占める婦人の割合
	人	人	%			
アメリカ	100	2	2.0	435	19	4.4
イギリス	1,179	62	5.4	635	19	3.0
オランダ	75	14	18.7	150	27	18.0
カナダ	104	10	9.6	282	15	5.3
スウェーデン	※ 349	92	26.4			
				（連邦議会）		
西ドイツ				519	46	8.9

注　日本の数字は「県議会が57年7月、市会と特別区（東京23区）は58年1月、町村議会はそれぞれ58年2月現在。

外国の数字は56年8月1日の外務省調べ。※印は一院制の国。

このままでよいか◎日本の食糧

都消費者センター

牛肉・オレンジなどの農畜産物の輸入自由化が、日本人の食生活へ与えるダメージには大きなものがある。私たちの暮らしを守ろうと、自由化に対し、消費者団体等、各関係機関での反対運動が高まっている。

東京都消費者センターでも、このほど「'83消費者問題特別講座」を東京・四谷の主婦会館で開き、食糧問題についてのパネルディスカッション、討論が行われた。

テーマは「このままでよいか　日本の食糧——食糧問題への多角的アプローチ——」。

明治大学法学部教授の木元錦哉さんを司会に、パネラーには、日本農業研究所研究員で、農業経済学者の井野隆一、法政大学経営学部教授・花原二郎、大阪大学講師で日本生活協同組合嘱託の藤原邦達、全国農業協同組合中央会専務理事の山口巌、主婦連合会事務局長の清水鳩子各氏らで、日本の食糧問題の現状を把握しながら、これからの課題として、我々にいったい何ができるのか、暮らしを守るための摸索がなされた。

食糧問題は、今や、世界的規模の問題になっている。そこには、人口増加、異常気象とは別に国際的な政治、経済の動きも絡んでいる。

昨年の「農業白書」には、穀物の生産や価格の変動指数が上がってきていることが書かれている。特に一九七〇年代から八〇年代にかけての変動は際立っている。

「世界の食糧事情と日本の食糧問題」で、井野さんは「この数値は、これ以上、海外に食糧を強く依存することの不安定さを示している。世界の一方に空前の富や大量消費、発展途上国では、五億人以上の人が飢えの状態に置かれていると言われるが、世界の食糧問題は、一方での過剰浪費、他方での深刻な飢餓という地域間の不均衡・対抗の関係。この解決こそ、緊急課題だ」と言う。

日本農業はと言えば、重化学工業・輸出に重点を置いた日本経済を基盤にしているため、農産物の輸入拡大、生産や流通のかたよった「大型化」「装置化」「米減らし」に走った転作強行を余儀なくされ、農業の多面的、複合的な発展、農民の努力が防げられているのが現状だ。

地球規模で長期展望を

自給率の向上こそ基本

添加物のハキダメ反対

さらに、国民の食糧事情は、戦前に比べ、はるかに好転したが、自給率の低下で、供給基盤が不安定、食生活のゆがみ、危険な食品汚染や有害食品が増えていることも見逃せない。

こうしたことから、井野さんは「食糧問題の解決には、自給率を高めることが基本。これを、国民経済の中にどう位置づけ、国土や資源、財政支出、労働力などを、国民生活優先の立場から、民主的に、どのように再配分していくかを考えるべきではないか」と問う。

「各国には、それぞれの国にふさわしい食体系があるのだから、日本よりも食品添加物の規制にルーズな、アメリカやECに足並みをそろえると、日本は食品添加物の〝ハキダメ〟になる」との警告をしたのは藤原さん。

日本の今日的食環境の状況、食被害、消費者にある不信感やPCBなどによる環境汚染などに触れながら、食品二法確立が必須と言う。

輸入食品検査は現在、全国で一六ヵ所、たったの六一人の検査官が行っている。しかも、日本で禁止されている農薬がフリーパス。輸入食品規制の自由化が行われれば、諸外国の問題化学物資の移入、流通、輸送過程での変質による有害生成物や、食中毒原因細菌の移入すら考えられると言う。

こうした、食環境の危機回避に全力をあげるためにも、食システムの整備は急がねばならないし、食機構が欠陥に満ちているままで、食糧輸入の完全自由化に踏み切ることは、安全性の見地からも、極めて危険である。と結んだ。

花原さんは、経済学の立場から、食糧危機の広がる課程、国際分業論、水産問題をも含めて問題提起。戦略物資となった穀物、牛肉やオレンジを例に、アメリカが日本に買わせようとしているのは、米であり、今の貿易摩擦は政治摩擦に他ならないと断言。

また、その国の有利な品物を作って売るという、国際分業論は、今の状況ではできない、とも。

「工業品ではストックができていますが、農業は、自然的な条件に左右されるためにムリ。勝手に数量を増やすことのできないものだから、アフリカなどで飢えがでてくるのだ」

こうしたことから、花原さんは「基本的な視点として大事なのは、国際分業論を正しく理解、その本質を明らかにすること。今日の食糧事情が、一部の穀物メジャーが支配し、操作しつつある状況が生み出されており、貿易摩擦が質的に変化しているとした場合、農業、食糧をどうとらえているか、という自然環境の中から見直していかなければならない」

また、水産問題に関しては、近海のイワシやサバに注目し、料理法の工夫などで、養殖魚のエサにするにとどめないようにと——。

「食糧問題は、農業のみでなく、漁業をも含めて、全体的に考えていかなければならないし、日本の環境保全をしていく観点から照らし合わせていくこと。多摩川にサケを呼びもどすことも大切だが、サケだけでなく、魚全体に対する配慮が大切」とした。

「日本農業の現状と課題」について述べた山口さんは、食糧問題は、日本だけよければ、という発想でなく、長期的、地球的規模で考えることを指摘。

日本の自給率を上げるには、地力をあげることがポイントだと言う。

戦前の日本では、土地の利用率は一三〇%。現在では、裏作をしなくなったために、遊んでいる田畑は十二万ヘクタールにも及ぶ。

「日本農業には、ここまで荒廃しているといわざるを得ない」と山口さん。

とにかく、地力をあげるために、今、五〇〇万ヘクタールある耕地を、これ以上減らさず、裏作を行うなどして、田畑の面積と回転率をあげることが是非とも必要。

「農業を魅力あるものにしていくこと。つまり人並みの所得のある農業経営をめざすことです。それには、労働生産性をあげること、土地の生産性をあげること——化学肥料ではなく、畜産を導入した複合経営で、地力をあげることがこれからの課題」と結んだ。

主婦連の清水さんは、消費者の立場から、食糧問題、食生活について触れ、今の消費者の食糧に対する姿勢は、主体性に欠けるものだ、と指摘。食に対する情報、外食・加工品への移行は、その大きな表われだ、という。

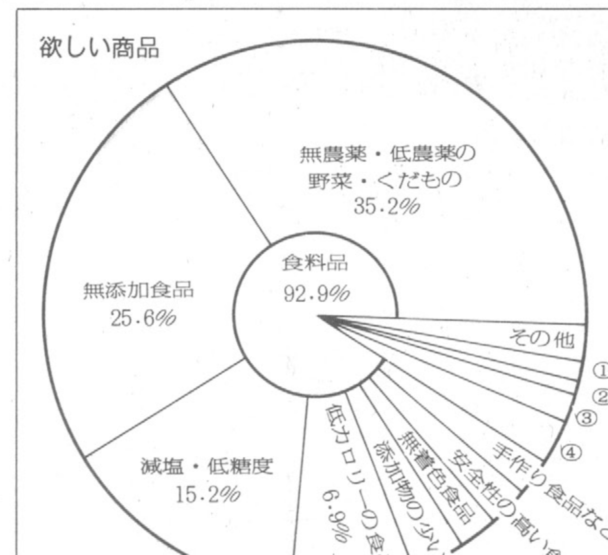
さらに、主婦連の調査では、食べものに対する要求で一番多いのが安全性の高い食品であることをあげ、消費問題に関して多くの人が深い関心を抱いているのだから、もう一度、自分たちの食生活を見直してみようではないかと提言した。

「農業問題は都市問題です。それなのに私たち消費者に対して、国は何をしてくれたでしょうか。農村に対しては、忙しく立ち振るまう議員も、都市生活者に対し、農業を通して何をしてくれたでしょうか。国は、何も具体的にはしませんが、救いは、東京の消費者が、危機にめざめて、この会を開いたこと」と怒りをぶつける。

そして、消費者の憤りをどのようにぶつけていくかが、これからの課題と語った。

この後、フロアーから、有機農法や、地域ぐるみでの安全な食品の購入までのプロセス、など、各人の体験や意見発表が行われた。

これらを踏まえ木元さんは、「まず、自分の生活の中を見回して、ダメだと思うことがあったら、すぐに直していくこと。そして、今日、語られたことを家庭へ、地域へ広めていくことが大切では」と結んだ。



昭和56年度主婦連合会「主婦の意識調査」より

婦人手帳

★★★　四月始まる割然として田がひらけ　遷子

甲子園のセンバツ高校野球が終わると東京のサクラもほころびる。そのサクラの下を晴着の母子が幾組も歩を運ぶ。入学式の仕合せな季節である。ところで、そのセンバツだが昨年の夏に続いて池田（徳島）がノビノビした野球で連続優勝の威業を成し遂げた。白髪の蔦監督の采配が若い選手たちの心にしっかり刻みこまれていて迷いなく全身全霊をうち込んだからである。学校生活で秀れた先生に恵まれることはまたとない幸せだ。

★★★　秀れた先生といっても千差万別である。技術やきびしさでは、蔦監督より秀れた人は幾人もいるだろう。監督の言行も人格者というより〝ヤンチャ〟といった方がいいようだ。ただ何か生徒たちの心を掴む一点があるのではないか。私なども長い学校生活の中でいまだに忘れられない教師の思い出や光景がいくつかある。これもその一つである。中学三年、といっても戦前だから、かなりウルさい年頃だ。図画の時間だった。ツボの花の写生が課題で、先生はぶらぶら列の間を回っていた。と、最後列の生徒Aが何かイタズラをしたのだろう、先生のたしなめる声が聞えた。口答えする。虫の居どころが悪かったのか、先生はそのAをイスごと倒し、描きかけの画用紙を破き捨てて、さっさと教壇にもどった。

★★★　起きあがったAが教壇目ざして進んだ。鼻柱の強い男だったから教室は緊張した。が、先生の前に立った彼がポケットからとり出したのは、何と一枚の銅貨だった。そしてこう言ったものだ。「画用紙一枚下さい」。そのころ用紙を忘れる者のために先生はいつも予備を持っていたのだ。絵を破った先生も苦笑、なにやらこっけいな結末に教室は爆笑した。この絵の先生、絵の技術のほどほど自ら示したことはなかったが、大変な読書家で個室には本が山積み、気嫌のいい時は授業に入る前に、読んだ本の話をしてくれたが、それは私たちにいくつもの未知の世界をかいま見させてくれた。昨今の暴力教室のニュースを聞くと、ふとAの画用紙事件を思い出し「要は人と人の問題かな」と思ったりする。

『味』で選ばれた名門の誇り

季節の味、材料のうまみをそっくり出します
まごころこめた伝統のうすくちヒガシマル。

東
うすくち
ヒガシマル醤油

うすくちは控えめにお使いください…

＊醸造元＝兵庫県竜野市　ヒガシマル醤油株式会社

体験 佐渡のくらし

食生活研究会　浅井まり子

— 9 —

厚い雲悩みの洗濯

12月、太陽は三日だけ

今年は暖冬です。佐渡は昨年にひき続き、雪のない正月を迎えました。一月八日の晩から静かに静かにやってきた冬将軍。町の人たちは、「やっと正月が来たようだ」と話をしていました。

ちょうど、大寒の日、日本海側は寒波の襲来で大雪になりました。その日、私は食研の新年会を二日あとに控えて、荒れる日本海を渡りました。

船窓を叩く吹雪

船に乗りこむと、皆、毛布（一枚五〇円）を借りてすぐ横になります。結構、乗船する人が多いなと思いながら、陣取った部屋の一隅に私も横になり本を広げました。波の揺れはいつものことながら、気持の良いものではありません。それでも酔うこともなく波に身をまかせること二時間半、窓外の横なぐりの吹雪は、新潟港に着くころ、更に激しくなっていました。

「やぼ（すごい）な雪だあー」

「やぼだな」

脇での話を聞きながら、雪にすっかり抱きこまれたあたり一面を、声もなくただただ眺め、吹雪のまっただ中の自分の身を、この大自然にゆだねるだけでした。

雪を知らない、雪との生活を知らない私は、こんな世界にとびこんできて、今、この目で見、さわれることの体験を有難く思わずにはいられません。

冬の日本海側は……

「トンネルを抜けると雪国であった」とは逆に、新潟からは「トンネルを抜けると太陽であった」——それは雪と太陽を分けるトンネルであり、人間の生活、考え方、性格をも分けるものなのだということを私なりに感じはじめました。

冬の間、ずっと太陽に恵まれる太平洋側の人間には、到底、理解できないであろう、日本海側の冬の生活です。

佐渡は十月いっぱいは、それでもよい天気がつづくそうで、十一月から春まで、雪に閉ざされ厳しい冬となると教えられました。それが今年は十一月もかなり暖かく天気のよい日がつづきました。雲が山から張り出してきたのは十二月入ってからでした。

「あの雲が嫌っちゃ」

友人がいうように山をすっぽり包みこんだ雲は、海にへばりついた島と家々を押しつぶすように低く低くたれこめています。

ただ陽光が恋しく

太陽が雲間から、のぞいたかなあと思うのもつかの間、雲は太陽を隠し、どんどん張り出し、雲ばかりそして雨。十二月は太陽に逢えたのが三日だけ。

そして一月は雪になりました。本当に太陽が恋しいです。悩みの種は洗濯をしても、太陽で乾かせないことです。竿を家の中に持ち込んで、何日も吊したままです。最終的には、こたつやストーブのある部屋で、カラッとさせるのです。

冷めたいふとん

問題は寝具です。敷ぶとんも毛布も掛けぶとんも干すことができません。ここいらの人はどうしていたのでしょうか。今は「ふとん乾燥機」を利用している家もあるようですが。お年寄に聞くと、「その儘だっちゃ」と、大して気にしてる風ではありません。そういう生活をして来た人たちにとっては、騒ぐ程のことではないのでしょうか。

神奈川の湘南に住んでいた私は、毎日毎日かわるがわるふとんを干して、毎晩、暖かいぬくもりの中でねていました。

降り積む雪、太陽を見る日は数える程だ

毛布に水分じっとり

干すことも出来ない湿った冷めたいふとんだけは、とても身にこたえます。私は今、三個あるこたつを乾燥機代りにフル回転して、三人の子供たちの敷ぶとんや、毛布を乾かしています。

ある日、寒さが厳しくなったので、押入れから、しまってあった毛布を取り出し、こたつにかぶせておいたら、しばらくすると表面が白く、ふわっと、露のようにひかるのです。思わず手をさしのべてさわったとき、私は思わずギョッとして、そこへ座りこんでしまいました。

じっとりと湿った水分が浮き出たわけですが、それ程に水分を含んだ寝具で、毎晩毎晩寝るという生活を思うと、言葉もありません。乾燥機のない時代の雪国の、太陽のない冬を暮らす人々の、冷めたい、湿ったふとんは、何を語っているのでしょうか。

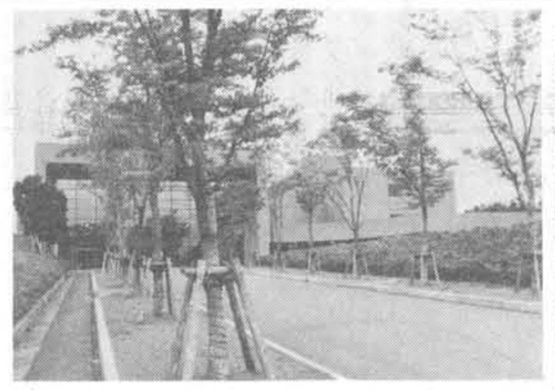
健康に関係ないのだろうか。私は、見ることも、さわることも、知ることもできなかった冬の生活にふれて、考えこんでしまいました。自然のままに、自然に従って生きるといっても、湿ったふとんはどうなのでしょうか。

がんばれ子供たち

冷え込む朝、足が冷たくて、足をこすったりしながら、それでも冷めたくて、結局、靴下をはきました。つめたいのになれていない私は、子供たちより抵抗を感じています。

子供たちは実に元気に耳あてをし、防寒着、長靴のいで立ちで、蛍光テープをはったカバンを背負い、懐中電燈を持って、三㌔ある学校へ通っています。風が出て吹雪く時、子供たちは、どんな思いで帰ってくるのだろうか。がんばれ！がんばれ！都会の子供たち。

らんざん便り



国立婦人教育会館

埼玉県比企郡嵐山町大字菅谷
〒355—02　☎0493—62—6711

考える手がかりに

「公開講演会」へどうぞ

国立婦人教育会館では、個人で会館を利用したいという希望に応え、婦人一人一人が広い視野から当面する課題を探求する手がかりを得るための講演会を公募により開催しています。

この公開講演会は、昭和52年度より実施されているもので、昭和58年度は五回予定しています。

今回、次の要領で参加者の募集をいたします。

日　時　昭和58年度5月24日(火)午後1時30分～3時30分
テーマ　「いま、花のとき」
講　師　田中　澄江（劇作家）
会　場　国立婦人教育会館講堂
定　員　500名（当日先着順に入場）定員を超えた場合は別室でビデオ視聴

★　申し込み方法　☆

普通葉書（一人1枚）に住所、氏名、年齢、性別、職業、電話番号を記入し、下記へお申込みください。

※宿泊希望の方は、希望する月日及び食事の有無を記入してください。

また、幼児同伴希望の方は、先着10名まで幼児室で保育しますので、氏名、年齢、性別、人数を記入してください。

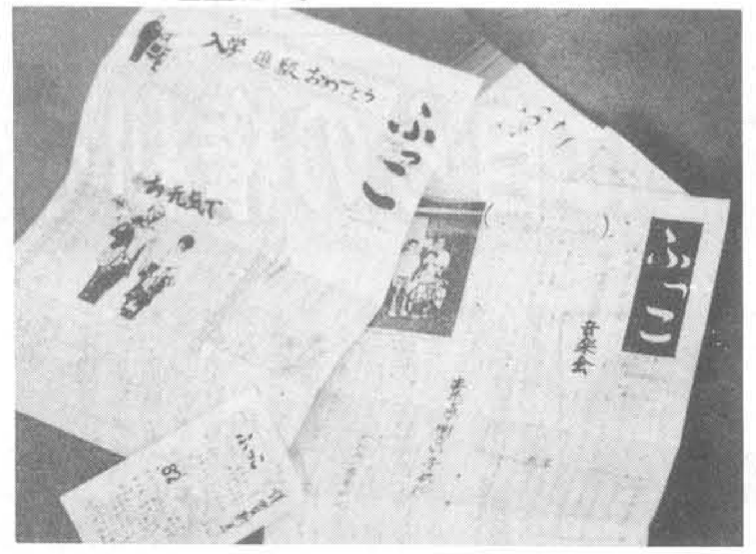
締　切　昭和58年5月10日（火）（当日消印有効）
申込先　〒355—02　埼玉県比企郡嵐山町大字菅谷728番地　国立婦人教育会館事業課（TEL0493（62）6711）
経　費　参加費無料（ただし宿泊希望者は1泊1、200円）

ユニークな

家庭新聞"ふっこ"

ただいま第7号！

"明るい家庭"がモットー　平素の対話も深まる



中学生の校内暴力事件、家庭内暴力事件が新聞の三面をにぎわしている。教育者も親も、子どもたちが何をし、何を考えているのか分らずに、ただオロオロするばかり。親子の対話の必要性が叫ばれてから久しい。しかし、対話の糸口にすら摑めないでいる親が多いのが現状だ。

そんな中で、家庭新聞というユニークな新聞づくりをし、家庭の"和"を深めている家族がある。測量・登記事務所を経営する鈴木恒男さん（神奈川県秦野市並木町九の六〇）一家だ。さて、その家庭新聞とは—ペンとカメラを担いで出かけてみました。

スズキの幼魚名

鈴木さんの住む並木町は、小田急線・渋沢駅から車で五分。丹沢の山並をバックに、新興住宅街が拡がる静かな街だ。

新聞の名前は「ふっこ」。名前をつける時、テレビで人気のあるキャラクターなどが候補にのぼったが、名字の鈴木の連想から、魚のスズキの幼魚の名前が選ばれた。

編集員は五人。口も手もあまり出さないお父さんの恒男さん（四〇）、編集長役のお母さんの君江さん（三五）、読書好きの長男・恒一君（中一）、習字の得意な二男坊・仁君（小三）、かわいい末っ子で長女の明日香ちゃん（小一）。

「自満できるほどのものではないんです」

という君江さんの言葉とは裏腹に、「ふっこ」は他人が見ても楽しくなるような新聞だ。B4判の両面コピー刷りで、内容も豊富。夏休みの子供たちの思い出、旅行や読書の感想、両親へのインタビュー。恒一君がホームステイで行ったアメリカ体験記。国際的な面がある一方、恒一君が、小学校五年の頃から興味をもって習い始めた点字についての連載と、福祉への目もみられる。バラエティーに富み、暖かさが伝わって来る新聞だ。

「ふっこ」の創刊は、昭和五十五年の八月。

お母さん編集長と末っ子の明日香ちゃん

先生が"続けて"

「何かあれば子供たちの写真を撮って残していますが一般的だし、VTRではお金がかかりすぎる。精神的なものとして新聞を思いついたのです。仕事柄コピーの機械もあるし。ただし一号でやめるつもりでした」

と君江さん。ところが新聞の作り方の指導を受けた先生から"おもしろいので、ぜひ続けて"とハッパをかけられ、七号も続いた。

子供たちの反応はと見ると、最初は書く事にテレを見せていたが、形になって出て来ると、表返し、裏返し、何度も読みかえし、担任の先生に見せたり、親戚へ送ったりの関心の示めしよう。

君江さんが早くに、母親と死別した事もあって「暖かい家庭づくり」がモットーで、親子の会話も多い方。新聞づくりは、さらに話題を広げ、深いものにしてくれた。

病気の打撃はね返す

「新聞を作ってよかったなあと思うことが一つあります」

仁君が小一の時、病気で長期入院をした。学校に復帰した時は、他の子どもよりズーッと勉強が遅れていて理解できない。本人としてはおもしろくない。運動では他の子供より優位にいたのに、過激な運動も止められ、不満がたまっている中で、学校から帰って来ると、君江さんの「あなたは他の子より遅れているので、追いつくように勉強しましょう」の言葉が、遊びに行きかけた仁君を呼びもどす。

「それで、精神状態が不安定になりましてね。これは私のやり方が間違っていると気づき、勉強はともかく、気持を安定させることに専念したのです」

大人でもそうだが、子供ならなおさら、人に認められたいという気持が大きい。それを新聞づくりで利用したのだ。

「うまくてもへたでも、相手を認める言葉、あなたは文章がうまいから、習字がうまいから書いてねをくり返し、出来たら、よく出来たじゃないとほめる事だけを続けたんです」

ほめられながら子供たちは反省をしている。「もっとこうすれば良かったね、お母さん」という言葉が返って来るようになった。仁君も、すっかり元気を取りもどし、わんぱく振りを発揮しているという。

お父さんの言葉

鈴木家の、教育方針の一つに物を大切にするという事がある。自転車を欲しがる時は、自転車屋に行って、中古の自転車を買って来る。すると子供たちは、きれいにサビを落とし、自分の好きな色のペンキで車体を飾る。

「そうした自転車なら愛情もわき、大切に扱いますからね。でも時には子供に負けそうになりますが、グッとくいしばって我慢をするんですよ」

生きる指針を教えるための、親子の戦いだ。子供を愛しているからこそ敗けられないのだ。

「ふっこ」一号に載っている、恒男さんから子供たちに送る、愛情深い言葉を紹介しよう。

「お父さんは君達のために働いている。お父さんの仕事は大変むずかしい仕事だ。しかし、君たちのために一生懸命がんばっています。君たちが元気ですなおに成長する事を見つめています。お父さんは学校の勉強ができるよりも、人間として立派な方が好きです。親の言う事もよく聞き、相手の人に迷惑をかけない子が好きです。自分のことは自分でやる気持ち、人に親切にする豊かな心を持ちましょう」

「ふっこ」は、子供たちふっこが、スズキになるまでの成長記録になるだろう。

「子どもたちが成長し、独立して家を出る時、本のように一冊にまとめて、それぞれ持たせたい」と君江さん。

ただいま発行部数四〇部。読者層は親戚、友人、学校の先生、子供たちのクラスメート。

デンマーク大使

高橋展子さんを囲む"お茶の会"

東京YWCAは、休暇で帰国中の、駐デンマーク大使・高橋展子さんを招き「女性大使高橋展子さんを囲むお茶の会」を、四月十四日、二時～三時三十分、東京YWCA講堂で開く。

"デンマークのくらし"と題し、生活と文化、女性がどう生きているか、社会、どこへ動いているか、などの話を伺い、自分たちのための生活をみつめ直す機会にしたい—というのが狙い。

出席希望者は、東京YWCA駿河台センター〈03（293）5421〉まで。

参加費・五〇〇円。

大阪府立　婦人会館だより

資料とゼミナール

大阪府立婦人会館創立20周年を記念して三冊の資料を発行しました。

▼『平等・発展・平和をめざして／大阪府立婦人会館の20年』

さる3月5日ウーマンズ・フェスティバル開催時に発行されたこの記念誌は、国連婦人の10年後半から、とりわけ著しい事業の展開をみせている同館が、その20年を振り返り、"平等・発展・平和"を祈念してさらに充実をめざすため、特に力を注いだものです。

注目されるのは、同館が全国でも唯一の国防婦人会館であったという前史発掘のエピソード。このユニークなプロローグといい、全33ページを通じて、これまでの官公印刷物とはいささか趣きの異なる編集であり、会館に集う女性たちのエネルギーが感じられます。

▼婦人情報資料目録—情報と資料収集の手引

昭和55年10月婦人情報資料コーナーが開設されて2年余りがすぎました。その間、情報・資料の収集・整備に努め、多くの人々に利用されています。府下の女性たちの拠点としてまた開かれた交流の場としての機能を果たしつつある当コーナーの目録は、ファイル方式として順次追加される図書資料の一部を目録として発行。婦人団体・行政機関などに配布しています。

▼『生きる・学ぶ・創る—会館と歩んだ三百人の本』

会館で学習する自主グループ員の声や作品を集めて前記20年誌の証言集としてグループ連絡協議会が発行した三二二ページの本。出版経費は、グループ学習の成果など手づくりの作品を集めたバザーにより捻出されました。定価千円。

昭和58年度講座受講生募集

婦人セミナーを倍増、ききっぱなしでない参加する講座を中心にしました。

〈現代の家族を考える〉セミナー
4月26日～6月21日　隔週火曜日5回
AM10・00～12・30　定員60名

ねらい…現代大きく揺れ動いている社会のもっとも基礎的な単位である「家族」のあり方を見直していきます。そして社会とのかかわりの中での成長と、家族の中での「個」の確立を模索していきます。

〈社会参加のための基礎〉セミナー
4月27日～6月22日　隔週水曜日5回
PM1・30～4・00　定員60名

ねらい…「自立」したひとりの人間として「社会参加」に一歩踏み出すための基礎を学びます。社会とのかかわりの中で大きく自己を成長させ、新しい仲間と出会えるかも知れません。

〈女性と法律〉セミナー
4月28日～6月23日　隔週木曜日5回
PM1・30～4・00　定員60名

ねらい…「国連婦人の10年」もあと2年。女性差別撤廃条約の批准に向けての国内法の整備とかかわって"法律"に焦点をあて、その中でも、女性に密接なものを特にとりあげ考えていきます。

〈国際理論〉セミナー（アジアの女性たちは、いま）
4月30日～7月30日　隔週土曜日5回
PM1・30～4・00　定員百名

ねらい…今年は「国際コミュニケーション年」、まず隣人であり、日本文化のルーツであるアジアを理解し、アジアの女性たちがどういう状況の中でどのように生きているかを学習します。

▼申込方法　往復ハガキに①セミナー名②住所③氏名④年齢⑤職業⑥電話番号を記入のうえ申し込んでください。

▼一時保育　受講者の二歳以上就学前の子どもの一時保育を行います。希望者はハガキに明記してください。

催し　日本女子社会教育会

4月例会

（財）日本女子社会教育会では、毎月、家庭教育・婦人教育振興のための「家庭教育懇談会」「婦人問題懇談会」を開催している。四月の例会は次の通り。

四月九日（土）…「現代教育ママ論—若い母親のために」・講師は、放送大学学園教授・深谷昌志氏。

四月三十日（土）…「生き生きした婦人の活動のために—グループ活動の企画と運営」、講師は、東京都教育委員会社会教育主事・山口操氏。

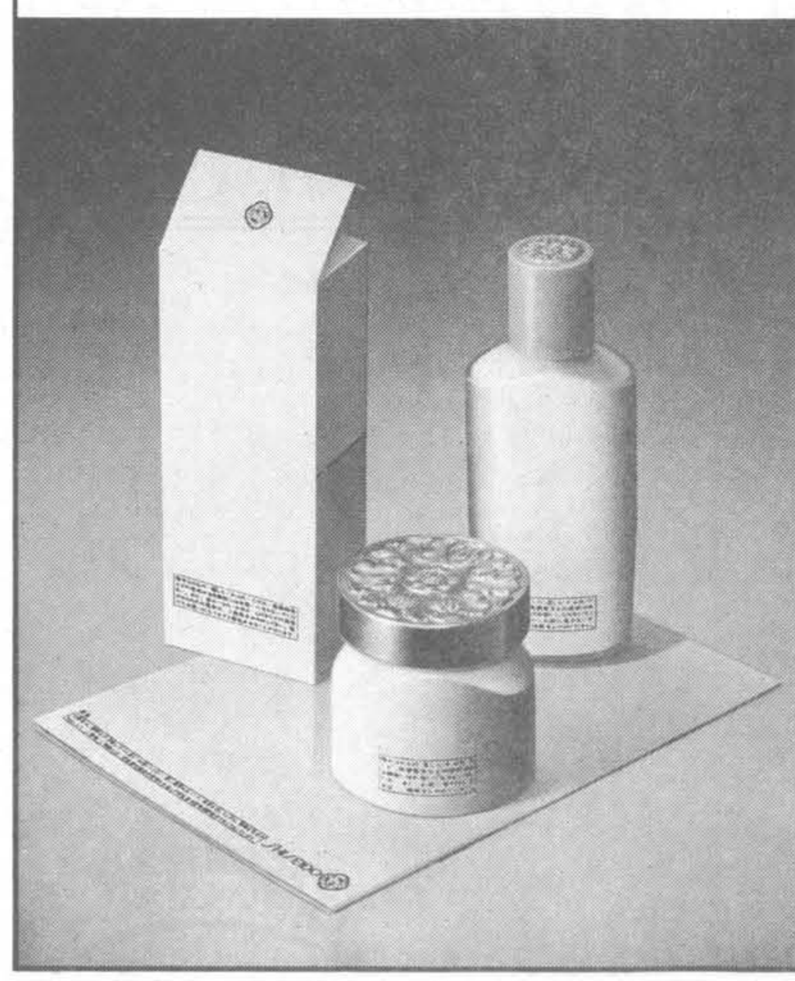
時間はいずれも午後二時～四時まで。

場所…日本女子会館五階講義室。会費は無料。

詳しい問い合わせは、東京都港区芝公園二—六—八「日本女子社会教育会」☎〇三—四三四—七五七五。

小さいけれど、しっかりと

〈注意表示〉を記してあります



化粧品をお使いになる時は、説明書といっしょに注意表示もぜひお読みください。

化粧品は肌に直接つけるものですから、資生堂では安全性に細心の注意をはらってつくっています。しかし、多くのお客さまの中には、肌の性質やその日の状態によって、時には肌に合わないこともあります。そのような時のために、資生堂では、容器、箱、説明書、パンフレットなどに、いろいろな形で次のような注意表示を記してあります。

○傷やはれもの・湿しん・かぶれ・ただれ・色素異常などの症状がある部位にはお使いにならないでください。
○化粧品がお肌に合わないときは、ご使用をおやめください。
①使用中、赤み・はれ・かゆみ・しげきなどの異常があらわれた場合
②使用したお肌に直射日光があたって上記のような異常があらわれた場合
○そのまま化粧品類の使用を続けますと症状を悪化させることがありますので皮ふ科専門医、または資生堂化粧品の売場かお近くの資生堂消費者相談窓口にご相談ください。

資生堂 広報室

〒104 東京都中央区銀座7-5-5　TEL 03(572)5111
〒541 大阪市東区北浜3-13(資生堂大阪ビル)　TEL 06(202)5071
〒450 名古屋市中村区名駅4-3-28(資生堂名古屋ビル)　TEL 052(561)4301

野川由美子

やさしいんですよ。

「だから、パオントリートメントカラー。髪にやさしく、つややかにしあがります。」

特　長

●トリートメント成分の配合で、自然のつやとしなやかさを保ちます。
●泡立てる必要のないクリーム式ですから、髪や頭皮にソフトな毛染めです。
●液がタレたり、とびちったりせず、短時間できれいに染められます。
●2回目からの染毛も、美しく仕上がります。

PAON
トリートメントカラー
5-G
5.5-G

4-G	自然な栗色	5.5-G	濃いめの栗色
5-G	深みのある栗色	6-G	自然な褐色
5.4-G	くすんだ濃いめの栗色	7-G	自然な黒褐色

〈各色￥800〉

※薬局、化粧品店、デパートでお求めください。

髪をいたわる毛染め

パオン
トリートメント カラー
〈おしゃれ白毛用〉

この染毛料は「使用上の注意」をよく読んで正しくお使いください。

山発産業株式会社

オーストラリア 最新 女性事情 ④

小さな"情報交換室"

主張聞いて政府に勧告

「どんな婦人でも、婦人やその家族の生活に大きな影響を持つ政府の政策や計画について、必ずなんらかの意見を持っているはずです。それを話してくださいませんか」—オーストラリア政府婦人局のメッセージです。

婦人局の仕事は、婦人問題に関する政府の政策を監視し、調整し、発展させることです。また、諸政策が婦人に及ぼす影響について、政府が絶えず配慮するように計ることも仕事の一部です。そのためには、一般婦人に意見を述べてもらうことがどうしても必要です。

こういうわけで一九七八年、キャンベラに店頭インフォメーション・サービスが発足しました。

キャンベラで店頭フォーラム

商店街の店先きで行なわれるこのフォーラムは、お役所の窓口的な感じはなく、週末のレジャー作業でもやっているようなリラックスした雰囲気に包まれています。

このサービスはフルタイムのコーディネーター一人、パートタイムのスタッフ二人の合計三人で行なわれています。このサービスを受けにやって来る婦人たちは備えつけの資料を読み、不平を述べたり、助言を受けたりします。

婦人局の職員はこのフォーラムで、家計や事業の問題や福祉問題から家族問題に至るまで、婦人が関心を持つあらゆることについて助言したり、情報を集めたりするのです。

店頭フォーラムは額面どおり小さな情報「交換会」です。政府の政策と国民を結ぶ手近かな「理解の橋」の役を果たすわけです。

婦人局のキャサリン・タペレル女史は次のように言っています。「婦人のための店頭フォーラムは、政府の政策が婦人に及ぼす影響について討論したり、婦人のためのサービスについて助言を受けるための場になっています」

「このために婦人局は、特に婦人に関係のある出版物、定期刊行物、会議の報告書などの特殊なコレクションを持っています。政府の計画や個人的な問題についてインフォメーションを求める婦人たちに、とにかくなんらかの手助けをしています。たとえそれがどこか他の関連団体を紹介するだけであってもです。一方、わたしたちはこのサービスによって、政府の政策が婦人にどんな影響を及ぼしているかを知ることができるのです」

タペレル局長は次のようにも言っています。

「結婚が破れたために来る婦人たちもたくさんいます。こうした婦人たちは、家族法や自分たちが受けることのできるサービスについてのインフォメーションを求めています。また、雇用上の差別、託児サービスの不足、公営住宅の不足、税金および税金の婦人に及ぼす影響、託児サービスの利用者に対する税法上の優遇措置などについて不平を持っています」

「また、母親としての要求をしに集まる婦人もいますし、婦人問題の国際的な進展ぶりについて問い合わせてくる婦人もいます。婦人局や全国婦人問題諮問評議会（NWAC）に関するインフォメーション、および、自分たちが受けられるサービスについてのインフォメーションを得るために来る婦人もたくさんいます」

婦人局が連邦政府の店頭フォーラムで得たインフォメーションは、ビクトリア州と南オーストラリア州の政府が行なっている同じような店頭フォーラム、連邦および州政府の婦人問題特別顧問や差別反対行政に携わる担当官、雇用上の婦人の権利に関する関係省庁間の合同委員会、婦人団体などと連携するNWAC、労働組合などの労働団体、および、オーストラリアが創立メンバーになっている国連婦人の地位委員会の会議などの国際フォーラムなどから得られる、同様のインフォメーションと合わせて総合的に判断されます。

タペレル女史によれば、婦人局は政府が婦人の関心事を考慮する上でその焦点となる事柄を提示しており、内務・環境省の中には、老人などを対象とする福祉計画の推進、または、所得や課税政策との関連における児童福祉の方向について、必要なときいつでも勧告を受けることができる部署を持っている。

店頭インフォメーション・サービスを行なっているところ。右から2人目がタペレル女史。ほかは、スタッフおよび参加した一般女性たち。

婦人局はそれだからこそ専門的な勧告を行なうことができるし、婦人のための施策を政府に早く行なわせるため、触媒の役をつとめているわけである。

タペレル女史は「内務・環境省は経済政策とか経済計画については、わたしたちをあまり利用していません。一般人の間には、こうした問題は育児、教育、雇用、保健、福祉のような問題にくらべ、婦人に関係のない問題だと考える傾向が残っています。税金、経済戦略、銀行、財政といった事柄が婦人問題の一部であるとはなかなか考えてくれないのです。実際には、こうした問題は婦人の日常生活に大きな影響を及ぼしているのですが」

タペレル女史によれば、一般的に言って、オーストラリアでは婦人の利益を守り発展させる仕組みがうまく働いている。

政府は婦人の権利向上を約束し、一九八〇年七月にコペンハーゲンで調印された、「すべての婦人差別排除に関する国連協定」の最終的な批准を目指して尽力中です。また、国連婦人旬年の最初にメキシコ会議で採択された、国連世界実行計画の多くの目標を達成するうえで大きな前進を続けています。

グループ

コスモス読書会

全員が活発な発言

違う世代の意見が勉強に

品川区立ゆたか図書館＝東京都品川区豊町一—一七＝を基盤とした読書グループである。図書館での読書会は珍しくはないが、このグループがちょっと変わっているのは高齢の女性が多いこと。最高七十八歳。例会には必ず五、六人の"七十歳前後"のメンバーが顔を出し、三・四十代のほかの会員と話しあう。「世代のちがう方の意見を聞けるのが楽しい」と、どちらがいうことなく、はじめからのメンバーがほとんどへらずに五年間つづいている。二つの世代がいりまじった読書会をのぞいてみた。

ゆたか図書館の一隅。まだ館内も静かな午前中。にぎやかに読書会が開かれていた。大原富枝の「忍びてゆかな」をテーマに話がはずんでいる。十一人ほどの出席者のうち、半数が"おばあちゃま"の世代だ。

「忍びてゆかな」はハンセン病の歌人・津田治子の生涯を描いたもの。津田さんの生涯について、ハンセン病の患者たちの現状や過去等、資料をゆたか図書館長の菊池直子さんが用意し、紹介するが、菊池さんの言葉が終わるのを待つように、司会者もなしに、どんどん話がとび交う。だまっている人は一人もない。

戦前のハンセン病患者の実態—発病者が出れば絶対秘密にし、療養所に送りこんだあとは戸籍も抹殺してしまう。患者は仮の名をつかい、本名を名のらないことが多かった。「津田治子」の名も、もちろんペンネームである。あるいは家を抜け出して遍路としてさまよい……

こんな話が目で見た事実として老会員の方から出ると三、四十代の会員が、へェ、と感心しながら聞く……

つぎのテーマは何にしようという相談も、みながワイワイと候補作を出しあい、あっという間に決まってしまった。こうした会によくありがちなことだが、遠慮しあって、あるいは読んでいなくて、一般の人はただ聞くだけ。二、三の人だけ、あるいは、助言者だけがしゃべりまくって……ということがない。坐っていても楽しくなるような集まりだった。

ハンセン病のことがのった新聞などをみながら話がはずむ（ゆたか図書館で）

コスモス読書会が始まったのは昭和五十二年の秋。そのころできたばかりのゆたか図書館に、定連の主婦の一人が読書会をやりたいと相談したのがはじまり。図書館で、館によく来る人や、主婦の会によびかけて、二十人くらいが集まった。ちょうど「サンダカン八番娼館」（山崎朋子作）の映画が出て話題になっているところで、この本をとりあげた。ちょうど窓の外ではコスモスの花が満開。自然に"コスモス読書会"という名がついた。はじめの二十人は十二、三人に減ったが、その後は、一人転勤でやめたくらいで安定している。川崎に引越したあとも、毎回通ってくるメンバーもいる。

主に女性作家の小説が中心だが、男性作家のものも、ノンフィクションも交える。「洟をたらした神」「非色」「婉という女」「荷車の歌」「おはん」など読んだ作品は六十冊を超えた。

「世代のちがうメンバーがいるのがいいですね。お年よりの話を聞くのが面白いし……」（中年のメンバー）。「楽しいですねえ。若い方のざっくばらんな意見を聞く機会が少ないから、とても勉強になります」「私？ええ、若い時から本が好きで、読むことに抵抗がないんですね。だからつづくのね。この年になってから急に本を読みだしたら疲れるでしょうけど……」（老メンバー）。読書は若いときからの習慣が大切と目を輝かせているメンバーはみな若々しかった。

暮らしの発明展

19日から三越本店で

（社）全国発明婦人協会による第二十三回「暮らしの発明展」が、四月十九日（火）～二十四日（日）まで、東京・日本橋三越本店七階で開かれる。大臣賞はじめ、各官庁、各団体賞作品、佳作品が展示される。今回は、特に時代を反映した、すぐれた作品が多い。

今年度の 赤松賞受賞者きまる

西川・末吉・海野・平間の4氏

今年度の赤松賞受賞者が四月十日次の通り決まった。これは戦前から戦後にかけて婦人の地位向上、婦人労働者の待遇改善等に功績があり、また日本の婦人ではじめて政務次官となった故赤松常子さん（参院議員）の業績を記念し、地道に社会のために尽している女性を表彰するもので、今年は十二回目。受賞者は

▽西川すみ子さん（五八）＝広島市＝世界連邦建設同盟全国婦人協議会常任理事。原爆被災者として核兵器廃絶と戦争反対のため、平和運動一すじに献身。

▽末吉ユキヱさん（五八）＝東京都＝ゼンセン同盟総務局員。売春問題と取り組む会常任幹事。昭和十四年日本毛織加古川工場に入り、戦後労組結成、婦人部長として民主化、待遇改善にとりくむ。昭和二十七年ゼンセン同盟に専従として入り、赤松常子婦人対策部長のもとで、繊維の婦人労働者の地位向上に奔走。以来ゼンセンで調査、婦人対策を担当。

海野政枝（七八）＝大阪＝日本民主婦人の会リーダー。現在、大阪市此花区で老人会、一人暮し老人への給食サービスボランティアの責任者として、地域の老人福祉に貢献。

▽平間房枝さん（六六）＝茨城県＝茨城県労基局家内労働部会委員、民社党茨城県連副委員長。

三十一年から大日本炭鉱主婦会に入り三十三年会長。三十七年全国石炭工業労組主婦連会長として、炭鉱労働者家族の生活向上と福祉のため献身。

ファンが駆けつけ

盛大に辻さん出版記念会

一昨年九月から昨いっぱい本紙に連載していた辻綾子さんの「奥さまワイン入門」は、既報の通り、「楽しいワイン教室」として新樹社から昨年末刊行されたが、三月三十日この出版記念会が、東京銀座のサッポロ・ライオンで行われた。

決意を述べる辻さん

辻さんの友人たちが発起人となって開かれたものだが、サッポロビール関係者、酒屋さん、あるいはワイン教室での辻さんのファンもまじり、地方からははるばる列車でかけつけた人々もあって、百五十人の参加者で会場は大にぎわい。

関係者や友人の励ましに、辻さんは「サッポロ・ポレール・ワインのアドバイザーとして、今後ますますよい仕事をし、ワインの道を究めたい」と抱負をのべていた。ワイン教室で、さわやかな語り口が定評の辻さんだが、この日は感激で言葉もつまりがちだった。

女性問題のすべて

手ごろな入門書として

現代女性の生き方

小森　健吉編

ミネルヴァ書房　1700円

編者は、いま仏教大学で「女性学」の講義を受けもっている。教育学の専門家である小森氏がなぜ「女性学」をはじめたか。氏は大学紛争の一因ともなった、現在の一般教育に対する批判への答として、そして女性の人間としてのしあわせを求めて、「女性学」の開講を考えたという。女性学の第一講を終えたとき、男子学生も女子学生もいきいきしていたという。

これは「女性学」の入門書であり、講義のテキストとして編集されたもの。よく、これだけのことをつめこんだと思うほどありとあらゆることが盛りこんである。"女性学とは何か"から始まって"女性のあゆみ""婦人運動の歴史""女性のこころとからだ""福祉""性""愛と生き方""愛と宗教""教育""社会参加""法律"—と実に間口が広い。だから、当然、切り口が浅く広くなるのはやむをえないし、項目別に筆者がちがうので、トーンが変ってくるのも仕方ないことだろう。女性の問題とはどういうことか、とっかかりとして読みたい人には、手ごろな一冊といえる。

網羅的なために、どれもこれも簡単なのはやむをえないにしても、「女性のあゆみ」の項はもの足りないと思う。外国の例をフランスだけにしぼったのは、ページ数の関係でまあやむをえないとして、現代日本の婦人運動を地婦連、主婦連、母親大会にしぼってしまったのは、あまりにも週刊紙的で少々気になる。戦前の廃娼運動を廓清会だけしか触れていないのも片手落ちに思える。全体の構成からみても、この項はもう少しくわしくしてもよかったのではないだろうか。

「端午の節句」の本をプレゼント

日本ひな人形協会が、端午の節句の歴史や祝い方、節句人形の飾り方などを写真・イラスト入りでやさしく解説した本を抽選でプレゼントする。ハガキに〒住所、氏名、年齢、職業を書いて、〒150—91 台東区柳橋2の1の9、東京卸商センター、日本ひな人形協会プレゼント係へ。20日締切り。

ほん

日曜漬けものづくり・入門

佐多正行著

"實習"もミニ知識も

日曜 漬けものづくり入門
佐多正行 著

総合科学出版　1500円

さわやかな歯ざわりと風味、色彩のあざやかさ…日本人には欠かすことができない食べ物となっている"漬けもの"。野菜類の摂取量の約二〇％が漬けものという点をみても、いかに日本人にとって漬けものが大切な食べ物であるかがわかる。

最近、添加物や農薬問題がクローズアップされてか、自家製の漬けもの作りが盛んに行われるようになった。漬けものづくりに関する出版物も種々出されている。そんな中で、単に漬け方や材料、薬味の比率の説明だけでなく"漬けものとは何か""なぜ漬かるのか"など、漬けものの原理から、材料の選び方、漬け物を種類別にまとめ、その漬け方のコツ、びん詰貯蔵法、果実・薬用酒の漬け方まで紹介しているのが、この「日曜漬けものづくり入門」。

まず、漬ける前に知っておかねばならないのは、どんな種類の漬けものがあり、それにはどんな材料が適しているかということだ。

塩漬け（一夜漬け、発酵漬け）には野菜、果実、山菜、魚、肉類が適している。

糠漬け（たくあん漬け、ぬかみそ漬け、糠漬け）根菜類、菜類など。

粕漬け（奈良漬け、山海漬け、粕漬け）果菜類、果実類、魚・肉類など。

みそ漬け（印ろうみそ漬け、調味みそ漬け）根菜類、山菜類、肉類など。

しょうゆ漬け（福神漬け、割干漬け、もろみ漬け）根菜類、山菜類、果菜類、肉など。

酢漬け（ピクルス漬け、梅酢漬け、調味酢漬け）果菜、根菜類、山菜類など。

カラシ漬けは各種野菜類など。

こうじ漬け（べったら漬け、三五八漬け）根菜・果菜類、魚・肉類など。

砂糖漬け（砂糖煮漬け、シロップ漬け）果実類などがある。

「漬けものが漬かるしくみ」の章では、食べ物が腐敗する生物の体のしくみ、それを腐敗から守るにはどうしたらよいか。野菜類の腐敗を防ぐため"塩"を使ったのが漬けものだが、食塩は食物に対して、どのような働き（作用）をするのか、漬かるとはどんなことかなどを解りやすく説明し「食塩の働きと細胞の変化」はイラスト入りという親切さだ。

また、ミニ知識として、年間の漬けものごよみ／たくあん漬けの由来／ぬかみそ漬のルーツ／重さのめやすなどは、読みものとしてもおもしろい。

例えば、ぬかみそ漬のルーツを見ると「平安以前の昔から"糂粏（じんだ）"と呼ばれる、米ぬか床に米こうじとダイズを混ぜ合わせ、みそ汁状にしたものを米飯の副食としていたが、そのじんだ汁の中に季節の野菜類を漬けて食べ始めたのが"ぬかみそ漬け"の初まりであろうといわれています……」

市販の漬けものの大部分は保存料、着色料などの添加物によって品質を保っている。それに慣されている私たちが、"手作りの漬けもの"に接した時、改めてその風味のすばらしさ、失いかけた本来の漬けものの味を取りもどせる時ではなかろうか。漬けものづくりがへただと思っている人が多いようだが、漬け方のじょうず、へたは、漬ける時、基礎と原理を理解しているかどうかで決まるものだ。それ等が誰にでも理解できるよう書かれている。

TOSHIBA

3つのドアを持った2ドア冷蔵庫なんて

この春一番のびっくりニュースです

いちばん下は冷やさないモノを入れる収納庫。

この便利さで、なんと160,000円。

キッチンを整理、プラスワン・ボックス。
『プラスワン』は、一番下が便利な収納ボックス。冷やす必要のない食品や小物類をたっぷり収納。キッチンスペースが有効に美しく整理できます。

出し入れらくらく、ワークベスト設計。
一番使う冷蔵室を、一番使いやすい位置へ。人間工学にもとづいたワークベスト設計だから、食品の取り出しは立ったままでらくらく。さらに使いやすくなりました。

大きな野菜丸ごと、ワイドな野菜容器。
コンプレッサーをプラスワン・ボックスの背面へ。その結果、野菜容器が1.5倍（[illegible]）も大きくなりました。新鮮な野菜をたくさんどうぞ。

GR-X273(W)[illegible]・(G)[illegible]・(B)[illegible]・(R)[illegible]　標準価格160,000円
有効内容積：200ℓ フリーザー50ℓ・冷蔵室150ℓ『プラスワン・ボックス』58ℓ
直冷式冷凍冷蔵庫・・・●ピッタリタイプ（奥行60cm 扉表面から）

GR-X233(W)[illegible]・(G)[illegible]・(B)[illegible]・(R)[illegible]　標準価格140,000円
有効内容積：170ℓ フリーザー40ℓ・冷蔵室130ℓ『プラスワン・ボックス』58ℓ
直冷式冷凍冷蔵庫・・・●ピッタリタイプ（奥行55cm 扉表面から）

カラーは4色、インテリアに合わせてお好きな色を

新登場
プラスワン
東芝〈冷凍〉冷蔵庫　直冷式

上手に使って上手に節電

●東芝冷凍冷蔵庫には保証書がついています。お買い求めの販売店で所定事項を記入した保証書を必ずお受けとりください。

先端技術をくらしの中に…E&Eの東芝
エネルギーとエレクトロニクス

伝統食を生活にどう生かす

シリーズ 日本の食の伝統を見直そう 最終回

家庭栄養研究会による、シリーズ・日本の食の伝統を見直そうの最終回は、宮本智恵子さん（日本の伝統食を考える会代表）による「食の伝統を私たちの食生活にどう生かしていくか」。日本の伝統食を考える会が、大阪市東淀川区淡路町に誕生したのは一昨年のこと。栄養士生活四〇年の宮本さんが、同町に住む老人が元気であることに目をつけ、その秘訣をたどっていったところ、食生活の中に、現在消えつつある伝統食が生きていたことがわかった。運動や体験の中から、どういった所に伝統食が残っているか、それを今後どう伝えていったらいいかを語る。

消費者も後継者を

〝25分のごまめ〟が合言葉

日本人の食環境が変化した第一の原因は、便利さだけを最優先することから、家庭の外で大量に、集団的に用意されたものを活用するようになったことにあるという宮本さん。

「ある調査で包丁、まな板のない家庭が三〇%もあることを知り驚いたのですが、それは序の口で、大阪には台所のない家を新築した若夫婦もいるということです」

おふくろの味でなくフクロ（パック詰のレトルト食品や冷凍調理食品）の味しか知らない若者たち。もはや日本の食環境はぬきさしならぬところまで来ている。こうした宮本さんの思いと淡路町に住む中、高年齢層の女性の気持が一つになって出来たのが〝日本の伝統食を考える会〟だ。

「淡路町というところは、まだ庶民性の残っている町で、そこに住む老人たちはシャンとしていて元気なんですね。どんなものを食べているのかを質問すると、異口同音に〝しょうもないもんです〟という答が返って来る。その内容をくわしく聞くと、ごぼうやレンコン、コンニャクなど、伝統食（民族食）といわれるものばかりです」

伝統食はひっそり生き続けていた。では、いったいどういうところに生残っているのだろうか。

まず、高齢者層の中。淡路町の老人の例のとおり、手づくりの煮豆やおからなど、母から子へ伝わった〝おふくろの味〟が食卓にのぼり、次の世代へ伝わりつつある。

庶民性の残っているところ。冠婚葬祭などを向う三軒両隣りで伝手い合う中で、昔ながらの料理法を学び伝えられている。

「私たちの調査で意外だったのは、高級住宅街に住む、ゆとりのある家庭が麦飯や大根葉、ぜんまいなどを食べていることでした。意識的に食べているのか、外に出歩かないので、情報不足によって昔ながらのものを食べているのか疑問ですが…」

婦人学級や消費者グループの活動が活発で、安全性や健康食品について学んでいる、学習活動意識のあるところ。

生産現場。旬のものを最もおいしい方法で食べたのが郷土料理。まだ郷土料理は、各地に沢山残っている。

日本の食生活に破壊的変化を与えたのは学校給食だが、意識のある栄養士、PTAのいる学校では、少しずつだがメニューに伝統食を取り入れつつあるという。

「食品メーカーの中にも、伝統食を守っていこうという人達が沢山います」

〝良い食品を作る会〟の四五社の店主たちもその一例。

①原料の厳選②加工段階の純正③時代環境に曲げられない企業姿勢④消費者との関係の重視の四原則を守り、伝統の手法を堅く守り、常に会員同士伝統とは何かを問いかけ啓発しつづけている会だという。

「食品添加物を使わないものは腐敗の速度が早い。したがって大量生産が出来ないという問題があります。良い食品を作る会では、四原則を守り、食品添加物を使わないで腐らないようにする工夫、研究が熱心に行われています。ある企業では、雑菌が最もつきやすいふきんを三十分ごとに取りかえたりで、涙ぐましい努力がなされているのです」

しかし、企業側の努力も受け止めてくれる消費者があってこそ報われるものだが、インスタント食品に慣らされた子供たちは、昔ながらの手法で作った豆腐は「豆くさくてイヤ」と、大量生産される水っぽい豆腐を好む傾向にある。

「こうした現状を踏まえ、青山学院女子短大・茂木信明教授の〝消費者の側も、真に良い食品を求める後継者づくりをすべきである〟と言われた事が心に響きました」と宮本さん。

外来食の導入によって、日本の食文化が大きく変化した。スピードアップされた生活サイクル、共働きなどの生活環境の変化によって、食卓が変ろうとしている。食品メーカーは、時代を先取りして、消費者をあおる。

「これから食品産業が目ざすのは4A作戦だそうです。栄養以外に、味と暗示と安心と、アッという間にできるものだといいます。料理に時間をかけるのは無駄と思っている人もいますが、せわしい時代だからこそ、一品の料理に心と時間をかける意味と価値を考えてもらいたい」

日本の伝統食を考える会では「価値観の転換・二十五分のごまめ」が合言葉になっている。

同会のおふくろ講師によるごまめ（田作り）づくりから出た言葉だ。

かたくちイワシ一〇〇㌘を、厚手のフライパンに二つ折りの半紙を敷き、やけどをしないくらいの熱さの中で、指でころがしながら炒りあげる。二十五分ほど炒るとイワシは少しも焦げずに、ポキッと折れる。これを砂糖大さじ三、しょう油大さじ二、みりん大さじ一杯を煮たてた鍋に移してからまぜると出来上がり。

一品でもいいから、作った人の心が感じられる料理を食卓にのせることの意味を考えて欲しいのだと。

「ほんとうに体に良い食べものを知りたい」「その調理法を習いたい」「自然食品、健康食品を続けているが、果して有効なのか。高価で長続きしないがどうすればよいか」などの切実な思いが、会の結集の底流となっており、こうした主婦の気持が流れを変える。学者の理論だけでは変えられないのだ。

「しかし、ふるさとをもたない〝ふるさとの味〟をどうしたらいいのか。つまり、作り方は伝統食であっても、材料のほとんどが輸入品であることです。薬害も心配だし、食糧問題として自給率が低いことも考えねばなりません。そして、何よりも伝統食の原点は、その土地で取れた安全なものを、新鮮なうちに、自分たちの手で調理、加工して食べることにあると思います」

いま、便利というだけで衣食住の中でも、かなり間に合せの部分がある。伝統的なものには間に合せのものはない。長い歴史の中でどうたされ、いいものだけが残る。食べ物も同様だ。伝統の良さを守りながら〝ヴィン入りのひじきごはん〟のように、近代性を加えながら日本人らしい〝食〟を守ること、その主導権を消費者が握り、メーカーも巻き込んでいくことが大切という。

大阪市婦人会館展 硬軟とりまぜ多彩な催し

日頃学習の成果を

人形劇団ポレポレの「二匹の子猫」

一階小会議室の展示

素人とは思えぬみごとな展示作品

第二十回大阪市立婦人会館（水上幸子館長）展は三月十九日㈯・二十日㈰の両日午前一〇時から午後四時まで盛大に開催され、出席のひとびとを楽しませた。

十九日は正午から一階ロビーで、ケーキ、クッキー即売がF・A・Bお菓子講習会の皆さんにより催され、大好評、またたく間に売切れていた。一階ホールの「実習と即売コーナー」では、紙人形、ちぎり絵、盆石、押絵、略画など。手話教室では中級の手話ボランティア講座を開催して希望者が詰めかけた。

午後からの一階サロンでは健康体力テスト（健康美体操同好会）、二階談話室では女性のための法律同好会の皆さんの担当で、弁護士の徳矢典子先生と塚本美弥子先生が「無料法律何でも相談」に応じた。

また三階大特別講習室では、パネルディスカッション（婦人問題セミナー担当）「女性の社会参加を考える」が行われ、助言者には弁護士の川西渥子先生が当たられた。

二日目は大特別講習室で「女性と老年を考える」をテーマに女性論コースの企画によるディスカッションが熱心に行われた。

二階和室の「素人囲碁対局」一階ホールの、なにわ語り部の会による「民話・島ひき鬼」や人形劇「白雪姫」「二匹の子猫」などが子供たちを喜ばせた。

美汐料理同好会のホットドッグ即売も大好評。

二階和室「月」「雪」では、お茶席が佳葉会の皆さんで催され、一階ホールの、「わいわいカーニバル」――コーラス、演奏、日舞、社交ダンス、続いて、カラオケ大会、さらに三階大特別講習室では、女性史コースの担当で「今、あなたにとって家族とは何?」のパネルディスカッションが前田邦江（建築家）松尾道子（弁護士）さんほかをパネラーに迎えて行われ、盛沢山な2日間の婦人会館展は成功裏に幕を閉じた。

試写室

抵抗の詩

戦争の狂気まざまざ

事実がもつ重みと迫力

一九七〇年、大阪で開催された日本万国博の国際映画祭に出品。絶賛を浴びた名作が、オリエント映画社の〈シネマテークジャパンシリーズ〉の第三回作品として再公開される。

この「抵抗の詩」は、一九四一年、ユーゴスラビアのクラグエバッツという町で、実際に起きた事を映画化したもの。

監督・脚本のトーリ・ヤンコビッチ自身、この町で生まれ、実現にこの事件に遭遇している。

この作品は、彼にとって、まさにデビュー作。

〈A&K言いたい放談〉

A…何か「禁じられた遊び」の中での、戦時下の子どもたちの姿、「アンネの日記」でのナチス・ドイツの大量虐殺のひどさを一緒にしたように感じたわね。

K…とにかく、戦争はイヤダ。第二次世界大戦で、当時の日本軍もナチスに負けないくらい残虐だったわけだけど、どこの国にせよ、戦争で、人間は狂ってしまうのね。

A…監督自身が、この映画の舞台であるユーゴスラビアのクラグエバッツの生まれで、一九四一年、六歳の時にこの虐殺に遭遇している。それから、三十年近くたって、はじめて製作した映画がこれということは、一生忘れることのできないショッキングな事件であり、日本人にはない民族、祖国に対する誇りがあるからではないかしら。

K…この町は、ドイツ軍の占領下にあった。大人たちは強制労働にかり出され、子どもたちは、学校から追い出される。

A…大人は強制労働に行っているため、一家の生計をたてるのは子どもたち。荷物運び、花売り、軍の貨物車から、石炭を盗むなどして働いていた。

K…今でいう、ガキ大将とその仲間たち風の一隊を組んで働いていたけれど、人数はどんどん増えていくし。

A…そこで、靴みがきに〝転職〟した。

K…最初は、ユーゴの市民のみを対象にしていたけれど、ある日、ナチスの一人が汚れたブーツを台にのせた。

A…そこで、子どもたちの間にも、ドイツ軍の靴などみがけるか、という者と、商売に徹する者との二者に分かれるのね。

K…でも、子どもたちは町中で靴みがきをしながら、戦争をま近かに体験することになる。一青年の銃殺を目撃してしまった。

A…死というものに接して、ショックを受けて、祖国に対する誇りに目ざめる――それから抵抗へと向うのね。

（写真 ㊤ピリヤクとビーラの間に、ほのぼのとした愛が芽ばえる。㊦殺される順番待ちをする村人の輪の中に入ろうとするビーラはナチスに追い返される。）

K…それから子どもたちは、ドイツ軍の靴をみがかなくなった。

A…ナチスは、この民族絶滅のために、大量虐殺の命令を出した。

K…ドイツ軍一人が負傷したら、数十人、死亡したら、その倍というように人を集めて、後は難くせをつけて、数千人の人を集めた。

A…子どもたちが、ある日、クラグエバッツの町に行くと、ゴースト・タウンと化していた。

K…ついさっきまで、コーヒーを飲みながら、新聞を読んでいたのに……という格好でね。

A…町の人の行方を追って、町はずれにやっていく。

K…大人たちは、新しい住民票みたいなものがもらえるとだまされて集められていた。

A…何があったのか知りたい一心で、その人の輪に加わったけれど、待っていたのは死だった。

K…この映画は、公開以来、反響を呼んで、TVでも放映されて、内容は知っていても、考えさせられるわね。

A…また、赤いケシ畑、緑の麦畑、絵に画いたような美しい風景の中で、あんな悲惨なことがおこっている。それが対象的で、鮮烈な印象があったわ。

K…とにかく、戦争は、絶対にイヤですヨ。

A…そろそろ日本もキナ臭くなってきたし、男にばかりたよらないで、女の平和の自己主張を声にしていくべきですよ。

K…何も言わない、しないことは、賛成したのと同じこと、というわけね。

A…ウヌ。

上映時間一時間二四分、オリエント映画社配給、六月二〇日(月)～二六日(日)まで、東京・新宿「アートミニシアターACBホール」で上映。問い合せは☎〇三―二〇三―四四四九オリエント映画社へ。

戦争の実態を知ろう

13日が第一回試写会

「東京裁判」を女の目で見る会

製作4年半――いま初めて激動の時代を語る 世紀の映像史！

INTERNATIONAL MILITARY TRIBUNAL FOR THE FAR EAST

満州事変から太平洋戦争へ。欧州戦線から全世界をのみ込んだ第二次世界大戦。終結、占領。こうした戦いの総括として開かれた東京裁判（極東国際軍事裁判）。

この東京裁判とは何だったのか。そこで何が裁かれ、何が明らかにされたのか――

映画「東京裁判」はアメリカ国防総省（ペンタゴン）が、第二次世界大戦の記録として撮影、保管していた約三万巻のフィルムの中から引きだした実録映画。

製作期間五年、四億円の巨費を投じて、「人間の条件」などで知られる小林正樹監督が、四時間三十七分に編集したもの。映画の中心をなす法廷シーンには原音が入っており、三台のカメラが三方から同時録音の撮影。かっての将軍、大臣、首相、皇帝など世界史の生き証人が続々とスクリーンに登場するとともに、戦争の悲惨な実情が告発される。

男たちの戦争であった太平洋戦争で、女たちは口を出すことも許されず、男と同様の被害を受けた。

もし、戦争に至るまでの、昭和史の過程で、女の参加があれば、戦争そのものは避けられたのではなかろうか――

この映画の上映を機に、戦争と平和と女のかかわりについて考えてみようと、映画評論家の林冬子さん、上野たま子さんが『「東京裁判」を女の目で見る会』を発足させた。

その第一回目の試写会が、十三日、東京・銀座ガスホールにコミュニケーションを職場とする女性や主婦、学生などに呼びかけて行われる。

賛同者には女優、小説家、ジャーナリスト、評論家などがいる。

キナ臭いニオイが立ち始めたいま、女たちの手で何ができるか――その前に戦争の実態を知ることから始めねばならない。

十三日の試写会は、十二時十五分開演。初めに秋山ちえ子さんの話があり、五時二十分終映。問い合せは☎03（535）3656。

東宝東和配給。五月下旬全国一斉公開。

春の彼岸・経木書き

天王寺区「共励会」恒例の奉仕

三月二十一日の春分の日を中心とした一週間は四天王寺さんの境内は、参詣の人々で大賑わいとなり、色んな品を並べた各出店とも大繁昌でホクホクの書入れ時だが、天王寺区母と子の共励会（岡橋操会長）では恒例の経木書き奉仕に役員も交替で多忙を極めた。

特に二十一日の春分の日は午前九時半より岡橋会長以下、入り切れない程詰めかけた。この一週間よそより割安の値段で経木書きに奉仕され、その余剰金は母子・寡婦福祉のために供せられるのが、例である。

春先は日光、ホコリにご用心…

資生堂美容ニュース

○…春は、きのう暖かったのが今日は急に寒くなったりしながら、毎日肌がなにを要求しているか肌の信号を聞いてみる習慣をもつのはいかが。この季節だけ敏感肌用の化粧品の使うのも一つの知恵です。

陽射しに明るさを感じたら、ファンデーションをていねいに塗って紫外線から肌を守ります。状況に応じてサンスクリーン（日やけどめ）などを使うといいでしょう。

ニキビは洗顔をまめに行って清潔さを保つことです。洗顔がたびたびできないなら、一日中脂とり紙を持ち歩いて、脂がういてきたらこれでおさえておきます。

○…きのうまで大丈夫だった化粧水がしみる程度なら、二、三日アルコール分の入った化粧水はやすみ、乳液を使う程度に。

肌にかゆみや痛みを感じるようなら使用を一時中止して、メーカーの消費者相談員に相談したり、皮膚科の専門医にみてもらい適切な指示をうけたほうがいいでしょう。この間は化粧はやめ、マッサージなど物理的刺激もさけましょう。

○…アレルギー性の湿疹ですが、アレルギーの原因は、花粉、ごみ、ホコリ、新緑の若芽などと、人それぞれです。専門医でみてもらって、原因を知り、適切な処置をしてください。また入学、就職、転勤に伴う転地など環境の変化による精神的ストレスが、肌にも影響を与えます。体や心のコンディションと皮膚の生理は密接に結びついているわけです。睡眠時間、栄養のバランスに気をつけ、運動量のチェックもしてみましょう。また休息をとり、リラックスして体調と生活のリズムを整えたら肌も生き生きと、みずみずしく輝きます。

National
-技術でひらく 世界の繁栄-

（新発売）

かんきつ類が絞れる
オレンジジューサーつき A30
ジューサーミキサー（オレンジジューサーつき）
MJ-A30 標準価格25,800円
●消費電力：210W（ジューサー・ミキサーとも）●色：グリーン(G)、ピンク(P)
●付属品：豆乳フィルター、豆乳じょうご

生ジュース専用なら
ジューサー単体タイプ A10
ジューサー
MJ-A10 標準価格18,800円
●消費電力：210W
●色：グリーン(G)、ピンク(P)
※豆乳作りセット・ミキサーコップ・オレンジジューサーは、サービス部品として別売しています。
●上手に使って 上手に節電

豆乳作りセット
豆乳フィルター 豆乳じょうご

ナショナルジューサーミキサー
MJ-A20 標準価格22,800円
●消費電力：210W（ジューサー・ミキサー）●大きさ（ジューサー）：幅23.7・奥行20.6・高さ33.5cm ●色：グリーン(G)・ピンク(P)・ブラック(K) ●付属品：豆乳フィルター・豆乳じょうご
●ナショナルクレジットもご利用ください。●ご購入の際は、販売店名など記入事項をご確認のうえ、必ず「保証書」をお受け取りください。
A20
松下電器

豆乳を絞ると、あとはおからに

豆乳フィルターで、豆乳の手作りが上手に
カセットフィルター方式だから、豆乳作りもご家庭でラクにできます。ひと晩水につけておいた大豆をミキサーですりつぶし、豆乳フィルターをセットしたジューサーに注ぐと、生豆乳が絞れます。これに水を加えてしばらく煮たてると、おいしい自然の豆乳のできあがりです。

ミキサーで、さらに楽しさを広げませんか
季節のくだものや缶詰を使って、おやつジュース、トロピカルドリンクなどの手作りが楽しめます。

豆乳もできます

ジュースを絞ったあとの繊維質は、カレーやジャムに

絞りカス、ポン！
カセットフィルターで、後始末が簡単
絞りカスは、カセットフィルターの内側に、ドーナツ状にまとまります。だから、後始末はフィルターをはずしてポン、あとはサッと洗うだけ。これなら、毎日のジュース作りにも手軽に使えますね。奥さまのシェイプアップジュース、ご主人・お子さまのヘルシージュース作りに、お役立て下さい。

毎日の使い勝手を考えて工夫も、すみずみに
●材料の入れやすい広口の投入口 ●作動中の振動を少なくした、新バスケットスピンナー採用
●生豆乳、生ジュースの泡が除ける、泡こし用のふたつき
←ヘルシーでおいしい生ジュースや豆乳を紹介したジュース読本（19ページ）つきです。
ジュース読本

生ジュースはもちろん